

授業科目 地域ケアシステム論

【担当教員名】 石原美由紀	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

地域には保健・医療・福祉の連携を基盤としたさまざまなケアシステムが存在している。ここでは、ライフステージ別、健康課題別のヘルスケアシステムについて知り、地域住民のQOL向上を目指した健康支援活動の展開について理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. ライフステージ別のヘルスケアシステムについて説明できる。
2. 健康課題別のヘルスケアシステムについて説明できる。
3. 地域で生活している人々のQOL向上を目指した健康支援活動と展開方法について説明できる。
4. 保健・医療・福祉の連携を基盤とした地域ケアシステムの展開について考えを述べるができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考
1	1. 地域における健康支援活動の展開方法と地域ケアシステム	1, 2, 3	講義
2	2. ライフステージ別ヘルスケアシステム		
2	1) 母子保健活動（子ども達が健やかに育ち、安心して子育てができるためのシステム）	1	講義
3	2) 成人保健活動（生活習慣病の予防・早期発見・悪化防止のための健康づくりシステム）	1	講義
4	3) 高齢者保健活動（健康長寿に向けた介護予防システム）	1	講義
3	3. 健康課題別ヘルスケアシステム		
5	1) 歯科保健活動，感染症保健活動，難病保健活動	2	講義
6	2) 地域精神保健活動，障害者（児）保健活動	2	講義
7	4. 保健・医療・福祉の連携を基盤とした地域ケアシステムのあり方	3, 4	討議

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	地域看護学. J p	荒賀直子・後閑容子	インターメディカル	2007年 3,390円
参考書	公衆衛生看護学体系 別冊1 地区活動の展開方法 厚生指 国民衛生の動向	渡辺裕子 厚生統計協会	日本看護協会出版会 2007	2005 3,255円
その他の資料				

【評価方法】

出席状況，参加態度20%，
試験，提出物80%

【履修上の留意点】

システム理論は概念的でイメージしにくいと思いますが，実践現場のシステムの実例や事例を活用して学習します。